

カリフォルニア大学サンフランシスコ校  
 ( UCSF ) に所蔵する日本古医書資料  
 Japanese Old Medical Books in UCSF

マスタ	<del>ニホク</del> ニホク大学書式設学術総合研究所 町 泉寿郎 Senjuro Machi , Nishogakusha University †	
-----	---	--

# 目的：北米図書館所蔵の日本古医書の所在調査 およびデータベース化（文部科学省科学研究費助成）



カリフォルニア大学サンフランシスコ校図書館  
East Asian Collection, UCSF Library

## 1:UCSF 資料購入の経緯

(元司書・南淳美氏からの聴き取り調査の要旨)

## 2: コレクションの概要

(第1次調査: 2007年8月、第2次調査: 2008年3月)

1:The particulars that purchased the works (the point of hearing investigation from Mrs. Atsumi Minami, en-librarian)

2:The summary of the collection (the first investigation: August, 2007, the second: March, 2008)

09/4/3  
1-1: コレクション形成に関わった人々

---

John B.de C.M.SAUNDERS

( 1903-1991 )

英国軍医の男として南アフリカに出生。南ア・ロードス大学、及びエジンバラ大学に学び、**1931**よりUCSFの解剖学教授。

1938-56 解剖学部長

1942-75 History of Health Sciences 部長

---

1942-75 医学図書館長

Saunders 教授は医学史に関心が深く、今日の UCSF 医学図書館の基礎を築いた。はじめ欧州の古医書収集から始められ、日本の古医書はほとんど無かったので、'63 に南淳美氏が命じられて、2 万ドルの予算で日本に買い付けに来た。

- The chancellor was Dr. Saunders who was born in England. The history of Medicine was his much interest, so it is said the foundation of Library were made in the time. In those days it had been started to collect the Early European Medical Works, but there

## 1-2: コレクション形成に関わった人々

~~司書南淳美氏（1921～）Mrs. Atsumi Minami~~

サンフランシスコ生まれ。津田塾専門学校に学び、'48にSFに再渡。カリフォルニア大学バークレー校に学び、サンフランシスコ州立大学図書館に就職。UCSF医学図書館に転じ、'56から同図書館のライブラリアンとなり、'91年まで勤続。

- Mrs. Atsumi Minami was born in San Francisco in 1921, graduated from College of Tsudajyuku, Japan. She studied Sociology in University of California, Berkeley in 1948. Then she worked Library of San Francisco State University and Medical Library of UCSF as a librarian for

# 1-3: コレクション形成に関わった人々

## 古書業者たち

---

- 東京の井上書店（医書）・大屋書房（浮世口）・浅倉屋書店、および大阪の中尾書店（個人コレクション等）がその主な購入先。米国側のディーラーには、Charls E. Tuttleら。
- Inoueshoten bookstore, Ooyashobo bookstore, Asakurayashoten bookstore of Tokyo, and Nakaoshoten of Osaka were the main bookstore.

# 1-4: 購入時期

---

- 第1回: 1963
- 第2回: 1964 (初めて入札会で購入)
- 第3回: 1967

計3回の買い付けでコレクションの基幹が整ったので、以後は目録によって補完。また研究に必要な参考書・学術雑誌を揃えていった。

The base of works for Library was made by in total three times of purchasing of 1964 and 1967. After that, they complemented the collection of books by catalogues. at the same time they had



## 1-5: コレクションの特徴

- 教育的な配慮から、巻物（『解剖存真図』など）・浮世図・図本など、視覚にうったえるような資料の購入に力を入れた。また、日本の医学史が通覧できるように、偏向なく幅広く分野・時代を網羅し、特定の学派や個人の著作を集中的に収集した傾向は弱い。
- By educational consideration, they purchased much the visual works, for example the Rolls (Kaibosonshinzu), Ukiyoe, Souzubon, etc.

They were covered all a wide field. <sup>oo</sup>

# 1-6: 保存・配架について

---

- 購入した本は、京都の表具師（中尾書店が紹介した大森氏）に帙を作らせ、アメリカへは帙に収めて送らせ、**UCSF**では立架式に収納した。非常に保存状態の良好なコレクションであるのは、そうした配慮の結果であろう。
- Their works let a paper hanger of Kyoto make case of rare books (Chitsu), and sent them that put in the case to U.S. They were put

## 2-1: コレクションの概要

---

- 現在、資料へのアクセスは図書館内のカード目録のみ。コレクションの概要すら広くは知られていない  
第1次調査の結果、日本・中国・朝鮮の古医書は計893点（全体では1000点を優に超えるであろう）  
このほかに、開架式に配架された日本医学史の参考図書が大量にある。
- Now we can find the inventory of Works in Library, but generally the summary of the collections are not known. According to the first investigation there are 893 works of Japanese, Chinese, and Korean in total.

## 2-2: 日本医書の内容

---

- 日本医書（和刻本漢籍医書・漢籍の日本写本・洋書の日本訳を含む）は約3分の2。中国医書は清末～民国期のものが多く、朝鮮医書はごく僅か。
- In them Japanese ( inclusive of Chinese medical works printed in Japan, Chinese works copied in Japan, and European works translated into Japanese) are about two- thirds, and Chinese were published from the last period the Shin era to the Minkoku era, but there are extremely a few works published in Korea

- 
- 日本医書を年代別分布から見ると、17世紀前半から19世紀後半まで約300年間にわたっているが、18世紀後半以降の資料が約8割を占める。
  - Japanese works were published for about 300 years until the latter half in the 19th century from the first half in the 17th century, and the works of the latter half of the 18th century are 80%.

## 2-3: 主要コレクション・旧所有者

09/4/3

- 
- 1: 木内政章旧蔵書（水戸出身で原南陽・小野蘭山の門人、写本のみ **71** 点）。
  - 2: 中村旧蔵書（美作国津山の和算家・医家、**104** 点）。
  - 3: 中山氏旧氏蔵書（近代の医者、**72** 点）。
  - 4: 森氏旧蔵書（近代の医者、**84** 点）。

The works that a former owner is clear are 4 of the following.

# 名家旧書

喜多村直寛  
 服部甫庵  
 山科仙寿院  
 新宮涼庭  
 三宅意庵  
 藤浪剛一  
 久保猪之吉  
 木村博昭

杉浦丘園  
 大野洒竹  
 呉秀三  
 フランク・ホーレー  
 三木栄ほか

## 名家自筆本

マスターソフトウェアの書式設定  
 岡田真之  
 関場不二彦  
 佐伯理一郎

宇田川榕庵  
 山脇玄心  
 山科広安  
 森枳園  
 池田瑞仙ほか

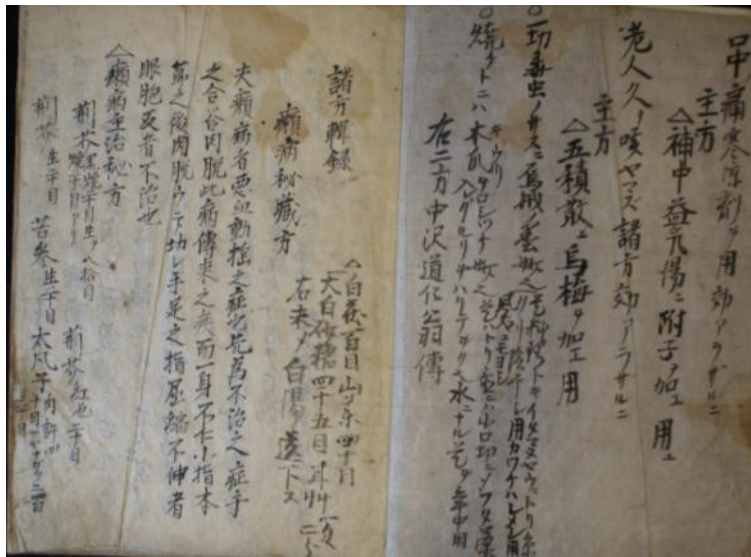
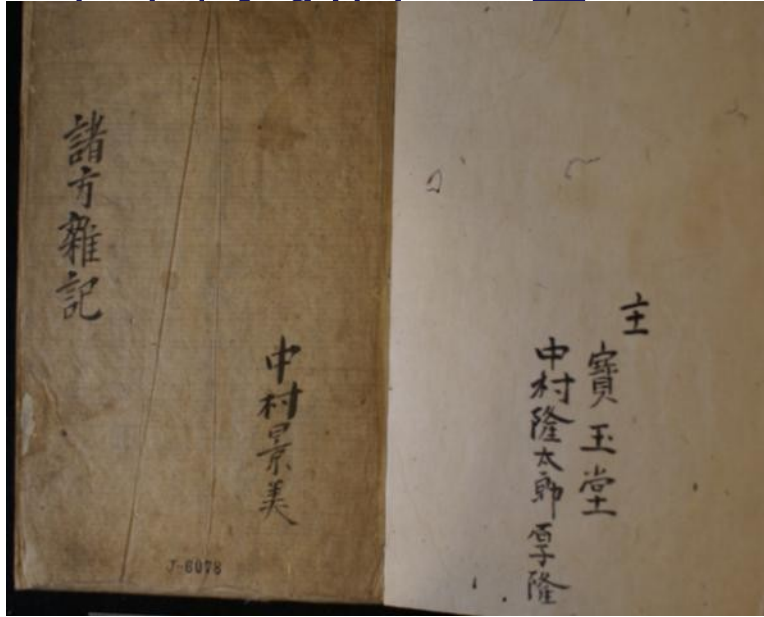
木内政章写本（水戸出身で原南陽・<sup>09/4/3</sup>小野蘭山  
に学ぶ）

---



津山の和算家 09/4/3 医家、中村周介景美の旧書と推定される。和算資料は大正期、  
 省した菊池大麓（算作家出身）の仲介により、日本学士院に寄贈されて現存。医書は昭和初期に大阪方面に

# 中村氏旧書

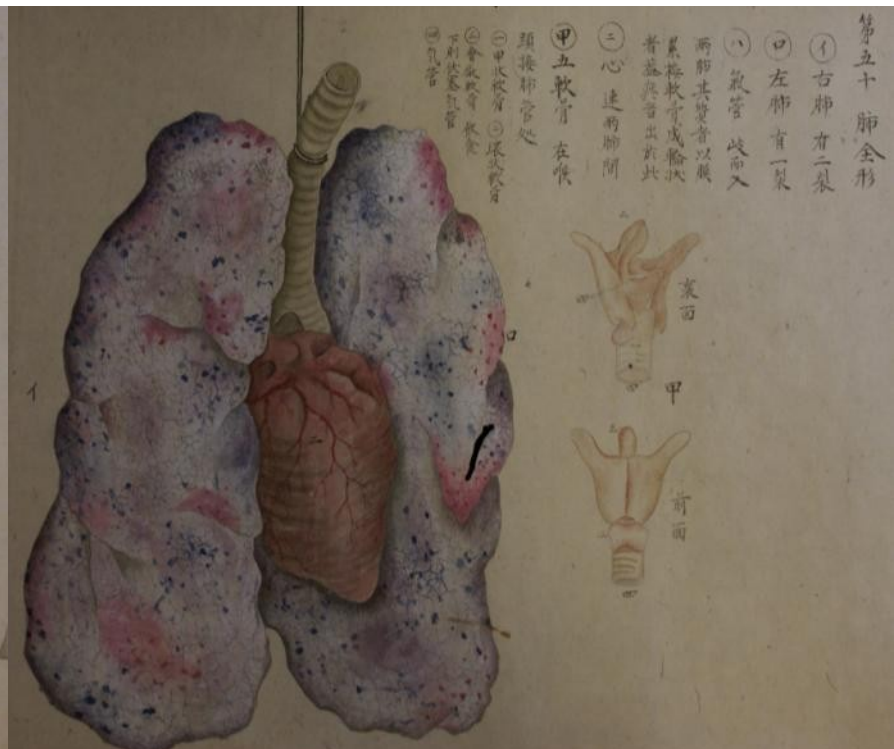
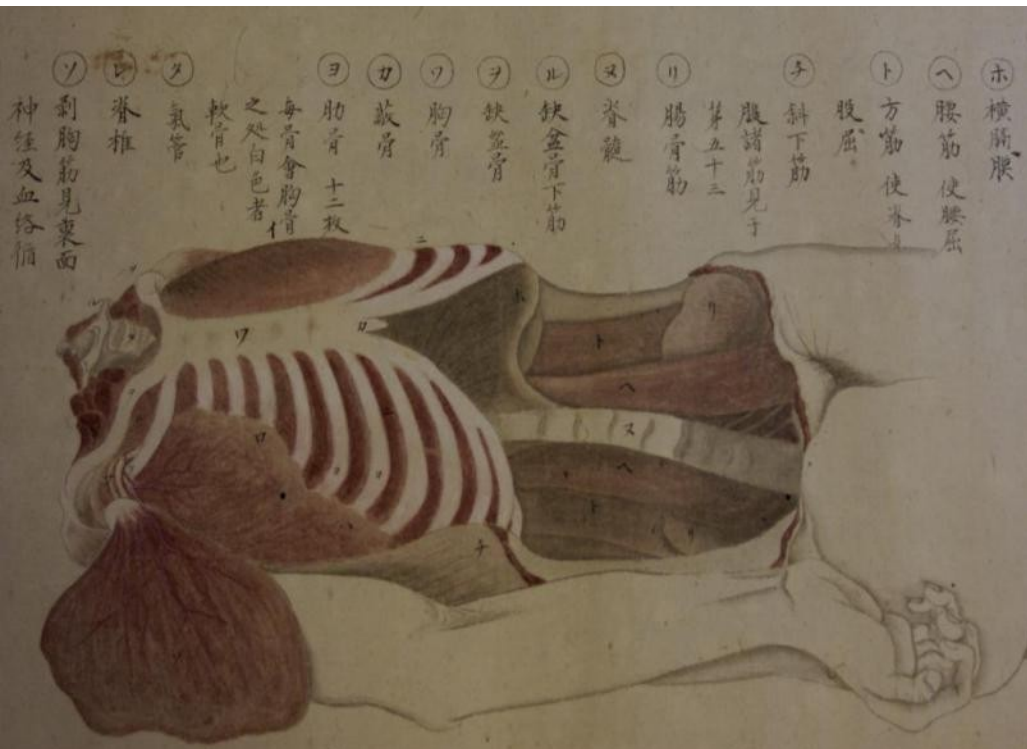


# 『解剖存真図』 上下二卷

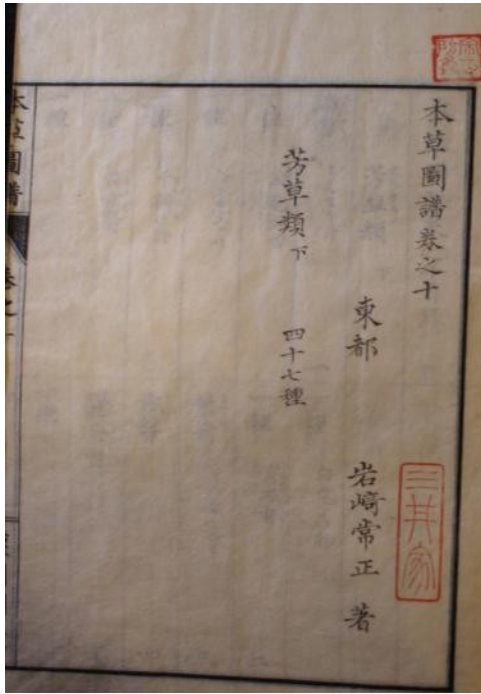
文政二年 ( 1 8 1 9 )

南小柿寧一著

全 8 3 図 からなる精密な  
全身解剖図



岩崎灌園『本草図譜』



三井文庫旧蔵、UC バークレーに収  
蔵されたものの僚本

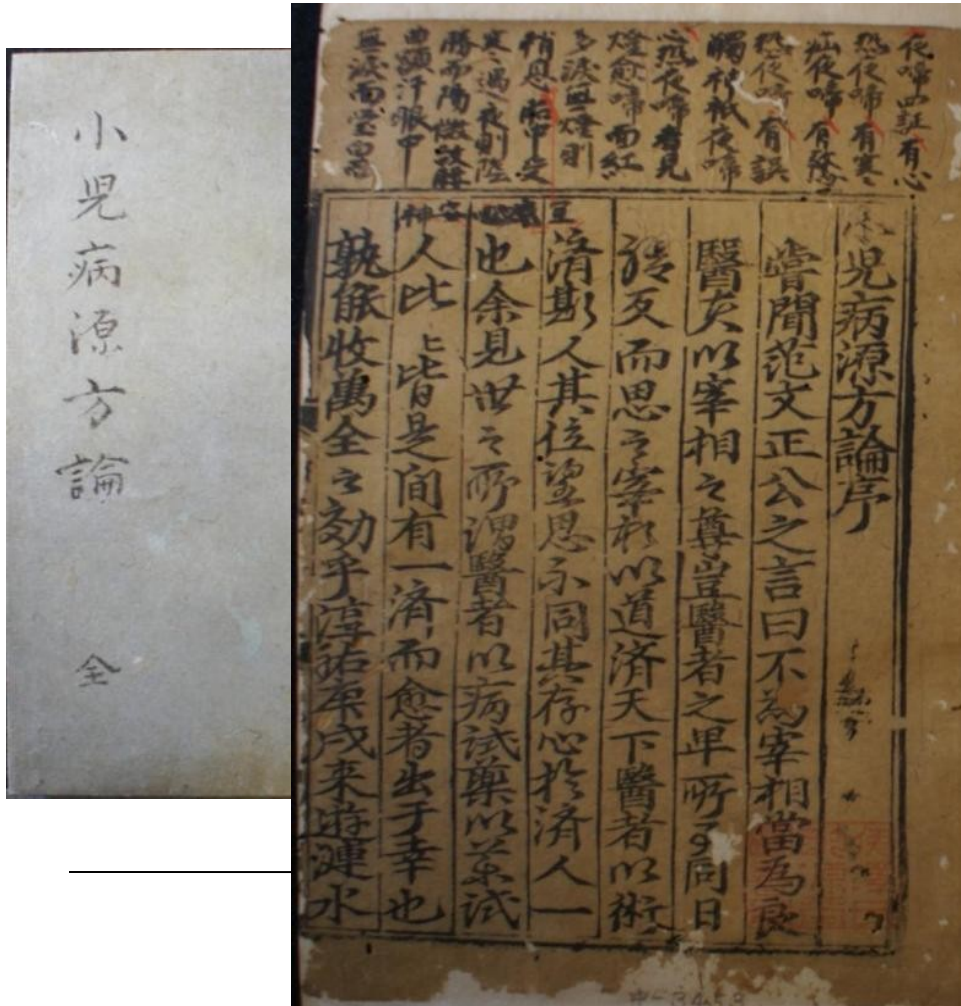
平安末期写『伝説療痔瘻病経（フランク・ホーレー旧蔵）  
2020

明・正徳三年（1508）刊

『陳氏小兒病症方論』

09/4/3  
明・正徳六年（1511）刊

『奇効良方大全』（日本人補写）



小兒病源方論

全

小兒病源方論序

嘗聞范文正公之言曰不為宰相當為良醫夫以宰相之尊豈醫者之卑所可同日  
 語反而思之宰相以道濟天下醫者以術  
 濟斯人其位望思不同其存心於濟人一  
 也余見世之所謂醫者以病試藥以藥試  
 人此皆是間有一濟而愈者出于幸也  
 孰能收萬全之効乎淳祐庚戌來遊連水



古活字本

---

『濟民略方』 『医方大成論』

# 宇田川榕庵自筆稿本

## 『磁石輯説』

---



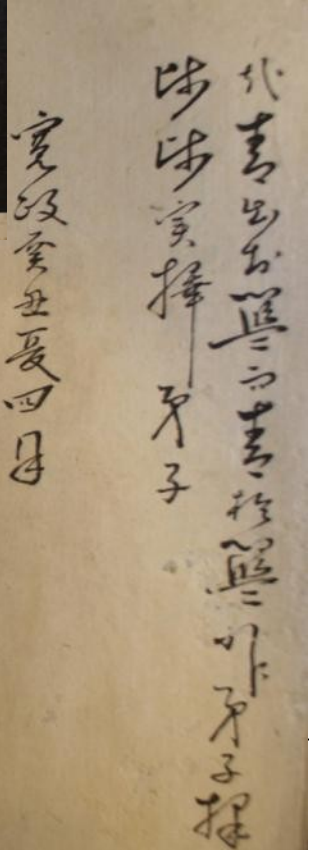
森枳園自筆稿本  
『本草和名訓纂』

---

森約之書入

『神農本草』

---



『究理堂製藥略抄』

池  
田瑞仙  
『戴曼公傳  
唇舌圖』

概括：UCSFに所蔵される日本古医書は、江戸期を中心として日本医学史を通観するにたる質量をもち、北米の図書館所蔵の日本古医書としては国立医学図書館（NLM, Bethesda）に匹敵し、世界的に見ても有数のコレクションと評価す

- By the collections we can look around the Japanese Medical History in the Edo era, and in addition, these are equal to National Library of Medicine in quality and quantity, and the maximum-scale as Japanese Early Medical Works of North American Library possessions.